

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	2年		
教科等名	国語・算数	グループ名	ぱんグループ		
ねらい	・目と手を協応させて具体物を操作したり、教員や教材に注目して模倣したりすることができる。 ・言葉の理解を広げるとともに、指さし、身振りサイン、発声・発語など表出する力を高める。 ・言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。				
担当教員	○伊藤 杏子 堀江 花歩 高山 弥晏				
年間授業時数	115/228.4				
使用教科書	東京書籍 こくご☆ 教育出版 さんすう☆				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	「2ねんせいになったよ」 「いちにちをりかいしよう」		・「予定カード」「ともだち」などへの注目をする。 ・動作模倣、音声模倣。 ・身近な家庭生活の場面の理解をする。 ・やりとり遊びをする。	・カードや教員、友達に注目できる。 ・教員と動作模倣や音声模倣をする。 ・生活に身近な場面の絵カードを選ぶことができる。 ・教員とのやりとり遊びを楽しむことができる。	・歌や音楽、繰り返し言葉などを使用して教材に親しみやすくし、楽しい雰囲気づくりをする。 ・写真やイラスト、具体物などを使用し、児童が興味をもって注目しやすい題材を用意する。 ・児童が操作しやすい大きさや素材の教材を用意する。
5	うえにのせて 「ぞうくんのさんぽ」	○	・絵本を見る、聞く。 ・動物の名称を知る。 ・教員の動作を模倣する。 ・話に沿って、箱を運ぶ、倒すなど、物を操作する。	・ペープサートや操作している教員に注目することができる。 ・絵カードや言葉で指示された動物の絵カードを取ることができる。 ・簡単な繰り返しの話に沿って、物を操作することができる。	
6 7	「くるんかさ」 「くれよんのくろくん」		・視覚教材を見る、聞く。 ・視覚教材を操作する。 ・身近な物の名称を知る。 ・教員の動作を模倣する。 ・動物と傘を組み合わせる。 ・色の名前を知る。 ・好きな色を選んで書く。 ・模型のクレヨンを一本ずつ箱にしまう。	・視覚教材に興味をもって見聞きし、絵の動きを目で追うことができる。 ・指示に応じて、ペープサートを揺らしたり、入れ物に刺したりできる。 ・色や模様に注目し、関連の深い二つのものを組み合わせることができる。 ・二つの色から、好きな色を選ぶことができる。 ・一つの場所に一つずつ、対応させて物を置くことができる。	
9 10	「なかまをあつめよう」 「かたちであそぼう」		・視覚教材を見る、聞く。 ・野菜、果物、飲み物などの名称を知る。 ・好きな食べ物を指さしなどで表現する。 ・指示に応じて、物を出したり入れたりする。	・教材や操作している教員に注目することができる。 ・同じ物や関連の深い物同士を組み合わせることができる。 ・言葉や絵カードで指示されたものを、取ったり、入れたりできる。	
10 11	「ごっこあそびをしよう」 「あててみよう」 学習発表会練習	○	・食べ物の名称を知る。 ・好きな食べ物を選ぶ。 ・セリフを身振りや発声で表現する。 ・言葉や絵カードで指示された物を取る。 ・物が、布や箱などに隠されるところを見て覚え、物を探し出す。 ・劇の動きを模倣する。	・言葉や絵カードで指示されたものを、取ったり、渡したりできる。 ・タブレット端末を活用して、一人に一つずつ対応させて、物を配ることができる。(一対一対応アプリなど) ・「ください」などの身振りや発声ができる。 ・言葉や絵カードで指示されたものを、取ることができる。 ・物の有無が分かり、見えない場所から探し出すことができる。 ・教員と一緒に動きを模倣しながら、劇に参加することができる。	
12 1	へんしんしよう「ふゆのひのおさんぽ」 みわけてみよう「おなじ」		・色と物の組み合わせを知る。 ・同じものの理解をする。	・色と物を正しく組み合わせることができる。 ・同じものを選ぶことができる。	
2 3	けいけんしたことを伝えよう 「わたしがっこう」 はいぜんしよう		・学校生活の中で使用する言葉の意味理解をする。 ・人と物の一対一対応。	・学校生活のいろいろな場面を知る。 ・人と物の一対一対応をすることができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	2年		
教科等名	国語・算数	グループ名	ぶどうグループ		
ねらい	・文字や数、色や形、大きさについての簡単な問いに答えることができる。 ・名詞や動詞など、身近なものの言葉を理解し、指示を聞いたり表現したりすることができる。 ・小集団の中で教材などに注目し、進んで学習に取り組む姿勢や態度を育む。				
担当教員	○村野 裕奈 深野 美咲季 中西 萌香				
予定授業時数	115/228.4				
使用教科書	東京書籍 こくご☆ 教育出版 さんすう☆				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	「2ねんせいになったよ」「じこしょうかい」		・「予定カード」などへの注目をする。 ・順番の理解をする。 ・自分の名前や好きなこと、好きなものを発表する。	・予定カードや友達、教員に注目できる。 ・順番を理解することができる。 ・自分の名前の文字がわかる。また、言葉や身振りで発表できる。 ・同じグループの友達のことを知り、興味をもつ。	・歌や音楽、イラスト、写真を取り入れて楽しい雰囲気づくりをする。 ・児童が興味をもてそうな題材を用意する。
5 6	10までの数 (おおきさくらべ) 「ぞうくんのさんぽ」		・絵本を見る、聞く。 ・動物の名称を理解する。 ・大中小を理解して並べる。 ・動物の数を数える。	・絵本のストーリーが分かる。 ・平仮名やイラストを見て動物の名前が分かる。 ・イラストを見て大小が分かり、順番に並べることができる。 ・10までの数を数えたり、1から10まで正しく並べたりできる。	絵本などの題材は繰り返しの言葉があるものなど、親しみやすいものを用意する。 ・個々に応じた方法で学習できるように教材や教具の用意をする。
7 9	「くるるんかさ」 「くれよんのくろくん」		・視覚教材を見る、聞く。 ・傘と模様をマッチングさせる。 ・色名を理解する。	・視覚教材を見ることができる。 ・同じ模様がわかり、組み合わせで傘を作ることができる。 ・色名を文字や言葉、カード等で表現できる。	・言葉掛けを統一したり、一定のルールを決めたりして、繰り返し行うことでやるべきことが分かるようにする。
10 11	「ごっこあそびをしよう」 「あててみよう」 学習発表会練習	○	・絵本を見る、聞く。 ・動作語や擬音語を理解する。 ・劇の台詞や動きを模倣する。	・絵本のストーリーが分かる。 ・絵本を見て、動作語や擬音語が分かる。 ・簡単な台詞や動きを模倣しながら、劇に参加することができる。	・模倣は粗大模倣を中心にし、指先を使う模倣も取り入れる。 ・具体物から半具体物、写真カード、イラストなど、児童の実態や成長に合わせて扱う教材を変化させる。
12 1	「なかまをあつめよう」 「かたちであそぼう」	○	・離れた所の物を指示を聞いて持ってくる。 ・形(○・△・□)のマッチングと名称を理解する。 ・形を使って構成する。	・教員の指示を聞いて、離れた所の物を持ってくることができる。 ・物を種類ごとに分けたり、表に並べたりすることができる。 ・形(○・△・□)を文字、言葉、イラストでマッチングできる。 ・形を使って見本通りに構成できる。	・児童が扱いやすく、見やすい大きさの教材を使用する。 ・授業の流れは見通しがもてるように、年間を通しておおよそ一定にする。
2 3	へんしんしょう「ふゆのひのおさんぽ」 みわけてみよう「おなじ」		・色と物の名前の組み合わせを理解する。 ・簡単な動作模倣をする。 ・指示された小物(帽子、手袋、マフラー)を身に付ける。	・色と物の名前の組み合わせを理解する。 ・体の部位の名称がわかり、言葉を聞きながら簡単な動作を模倣できる。 ・小物を指示通りに身に付けることができる。	・児童の集中力を考慮し、集中の持続ができるように、複数の題材を取り入れる。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	2年		
教科等名	国語・算数	グループ名	ぴーまんグループ		
ねらい	・文字や数、形、大きさについての簡単な問いに答えることができる。 ・名詞や動詞などの複数指示を聞き、それに応じた行動ができる。 ・学んだことを生活の中で生かすことができる。				
担当教員	○藤田 希 町田 勉				
年間授業時数	115/228.4				
使用教科書	東京書籍 こくご☆ 教育出版 さんすう☆				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	「2ねんせいになったよ」「いちにちをりかいしよう」		・「予定カード」「ともだち」などへの注目をする。 ・順番、日付の理解。 ・家庭生活の中で使用する言葉の意味理解をする。 ・動作模倣、音声模倣。 ・やりとり遊びをする。	・予定カードや友達、教員に注目できる。 ・順番を理解することができる。 ・日付を理解することができる。 ・家庭生活のいろいろな場面の理解をすることができる。	・歌や音楽、イラスト、写真を取り入れて楽しい雰囲気作りをする。
5	じゅんばんに(おおきさくらべ)「ぞうくんのさんぽ」		・絵本を見る、聞く。 ・大・中・小を選ぶ。 ・「ぞう」「かば」「わに」「かめ」などの平仮名を読む、書く。 ・動物の数を数える。	・絵本に注目し、物語の内容が分かる。 ・異なる大きさのイラストの大中小を答えることができる。 ・平仮名を読んだり、なぞったり、見本を見て書いたりできる。 ・5～10程度の数を数えることができる。	・児童が興味をもてそうな題材を用意する。絵本などの題材は繰り返しの言葉があるものなど、親しみやすいものを用意する。
6 7	「くるんかさ」いろでかこう「くれよんのくろくん」	○	・絵本を見る、聞く。 ・色による仲間集めをする。 ・「くろ」「あか」「あお」「きいろ」「みどり」の色名を平仮名で読む、書く。 ・色名に従い、色を塗る。	・絵本に注目し、物語の内容が分かる。 ・色名を見たり聞いたりして、身の回りの物から探すことができる。 ・平仮名を読んだり、なぞったり、見本を見て書いたりできる。 ・色名が分かり、色名に従い色を塗ることができる。	・言葉掛けを統一したり、一定のルールを決めたりして、繰り返すことのできるようにする。 ・模倣は粗大模倣を中心にし、指先を使う模倣も取り入れる。
9 10	「なかまをあつめよう」 「かたちであそぼう」		・教材に注目する。 ・野菜、乗り物、動物の平仮名を読む、書く。 ・仲間集め、仲間外れが分かる。 ・絵本を見る、聞く。 ・形の平仮名を読む、書く。 ・形を使って構成する。	・教材に注目し、物の名前が分かる。 ・平仮名を読んだり、なぞったり、見本を見て書いたりできる。 ・テーマに沿った仲間集めや、仲間外れを見付けることができる。 ・絵本に注目し、形を見付けることができる。 ・形を組み合わせて、見本通りに構成できる。	・模型などの具体物を使用し、児童の興味を高める。 ・具体物から半具体物、写真カード、イラストなど、児童の実態や成長に合わせて扱う教材を変化させる。
10 11	「ごっこあそびをしよう」 「あててみよう」 学習発表会練習	○	・絵本を見る、聞く。 ・擬音語を理解する。 ・動作語を理解する。 ・平仮名を読む、書く。 ・劇の台詞や動きを模倣する。	・絵本のストーリーが分かる。 ・動画やイラストで擬音語が分かる。 ・文字、言葉、動作を見て、動作語が分かる。 ・平仮名を読んだり、なぞったり、見本を見て書いたりできる。 ・簡単な台詞や動きを模倣しながら、劇に参加することができる。	・児童が扱いやすく、見やすい大きさの教材を使用する。 ・授業の流れは見通しがもてるように、年間を通しておおそ一定にする。
12 1	へんしんしよう「ふゆのひのおさんぽ」 みわけてみよう「おなじ」	○	・視覚教材を見る、聞く。 ・色と物の名前の組み合わせを理解する。 ・指示された小物を身に付ける。	・視覚教材のストーリーが分かる。 ・色と物の名前の組み合わせを理解する。 ・小物を指示通りに身に付けることができる。	・児童の集中力を考慮し、集中の持続ができるように、複数の題材を取り入れる。
2 3	けいけんしたことを伝えよう「わたしがっこう」 はいぜんしよう		・学校生活の中で使用する言葉の意味理解をする。 ・場面の順序を理解する。 ・経験したことを伝える。 ・「ある」「ない」の理解。 ・同じものの仲間集め。	・学校生活で使用する言葉の意味を理解できる。 ・場面の絵カードを正しく並べることができる。 ・絵カードを使用し、自分の経験を相手に伝えることができる。	・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています